

学校の教育目標

豊かな心で協力し合える子ども
自ら学び創造し、深く考える子ども
何ごとにも進んでやりぬく強い子ども

令和6年度の教育重点目標

愛いっぱい 元気いっぱい 希望あふれる愛国小

～落ち着き、安心できる愛国小で自立した学び手の育成を目指す～

Chance～なりたい自分に～

学校教育目標から研修を進めて考える目指す子ども像（一年次）

- ・豊かな心で協力し合える子ども（自分の考えを持ち、表現できる子）
- ・自ら学び創造し深く考える子ども（課題解決の見通しを持ち、自力解決できる子）
- ・何ごとにも進んでやりぬく強い子ども（間接指導時に、自分の考えで活動できる子）

『確かな考えで、豊かに表現できる子どもの育成』

～自立した学び手の育成を目指すために～

研究仮説

○個々に応じた算数的活動を通して、よりよい課題解決の方法を身に付けていくことにより、子どもたちは自分の考えや課題に見通しをもち、自力解決することができるだろう。

○自分の考えや計算・筆算、図形などを見やすくノートに記録することにより、自分の考えを整理し、表現することができるだろう。

○間接指導時の取り組みを習得させ、効果的な渡りずらしを実践することにより、基礎基本が定着し、主体的に学習することができるだろう。

研究の内容 1

- ・算数的活動の指導
- ・見通しのもたせ方
- ・数学的思考方に則った授業のまとめ方

研究の内容 2

- ・教具の使い方指導
- ・ノート指導
- ・発表、説明の指導

研究の内容 3

- ・効果的な渡りずらし
- ・間接指導時の工夫
- ・個に応じた手立て

支持的風土のある学級経営

基本的な生活習慣・学習習慣の定着

「確かな学力」を基盤とした生きる力